

幹事長の会務報告

2011年9月22日

1. はじめに

幹事長の山縣です。今回から折に触れて「山口七夕会」の活動を報告させていただきます。

「山口七夕会」も平成11年の設立から今年で12年目を迎えました。一昨年夏の総会で設立10周年を機に前任の原野前会長、山本前幹事長が退任され、八木会長、私がバトンタッチを受けて、早いもので1期2年の任期が過ぎ去りました。

昨年の総会では、役員各位の英知を結集して「山口七夕会」の今後10年の活動基本計画である「山口七夕会2020ビジョン」を提案し、会員のみなさまの御承認をいただきました。

その後1年、さまざまな企画を練り、会員のみなさまの意見を伺いながら試行錯誤を繰り返してきました。まだまだ道半ばで発展途上ではありますが、引き続きよろしくご協力とご支援をお願いします。

2. 平成23年度定時総会を終えて

去る7月30日、平成23年度定時総会を76名の会員の参加で開催しました。定時総会、講演会については、同封の「山口七夕会通信Vol.12」をご覧くださいとして、定時総会に続く懇親会での今年の特徴的な出来事をお知らせします。

歌の力で進化した懇親会

懇親会のオープニングは、急きょ結成いただいた「七夕合唱団」のコーラスでした。公益財団法人防長倶楽部(山口県人会)の女性コーラス部「きらら会コーラス」のメンバーは「山口七夕会」の会員も多く、久永前副会長、山仲新副会長の御尽力で今回、お仲間を誘って「七夕合唱団」の歌声を披露いただきました。さっそく男性の方の飛び入りもあって、歌声が和やかに響き合いました。

山口から上京いただいた渡辺市長さんも、山口市のホームページ上に次のようにコメントいただいています。

「東京で開催されました山口七夕会の総会に出席してまいりました。山口七夕会とは、主に首都圏で御活躍されているいらっしゃる山口市出身の方々が、ふるさと山口を慕い、集まってできた会です。山口の情報を発信していただいたり、ふるさと納税をしていただくなど、本市のために大いに寄与していただいているところです。

私からは、新山口駅ターミナルパーク整備事業の進捗状況を始め、国体に向けた取り組みなど、本市の現

況を紹介するとともに、引き続き本市の発展に御協力いただくようお願いしてまいりました。

また講演会では、狂言の第一人者であります小林責先生による御講演があり、その後、県指定無形文化財・山口鷺流狂言の技術保持者であります米本先生による狂言が披露されました。あらためてその歴史的価値の高さを感じたところでございますが、山口七夕会の皆様も感銘を受けられ、山口鷺流に対してその場で募金活動が行われるなど、心温まる会となりました。」

山口鷺流狂言保存会への緊急支援募金！

渡辺市長のコメントにもあるように講演会で狂言の衣装の新調もままならない財政状況をお聞きし、急遽その場で募金箱を作製し支援の募金をお願いしました。山口市役所の若手職員に会場を回っていただき後日集計したところ6万2千円の浄財が集まりました。

この支援金は、で8月15日に山口市役所において吉田副市長に立会いいただいて、八木会長から山口鷺流狂言保存会の樹下会長にお渡ししました。



〔左から：児玉会員、八木会長、吉田副市長、樹下会長、米本太郎氏〕

つながりでご協賛

山口銀行東京支店長には会設立以来、会計の「監事」に就任いただいています。今回、新しく着任された矢儀支店長は残念ながら公務出張と重なり欠席でしたが、代理出席の宇佐川次長から矢儀支店長からのプレゼントとして、山口市湯田温泉に8月に新規オープンした「古希庵」(湯田温泉)の「ペア宿泊券」をいただきました。「古希庵」を運営する田中金属からの協賛品を七夕会に提供いただいたもので、さっそく「じゃんけん大会」の特等賞としてみなさんに競っていただきました。

以上、多くの参加者で盛り上がった夏の総会でした。

3. 夏のふるさと山口での交流

毎年、お盆の時期には帰省しているので、これを機会に交流を深めてきました。

イレブン会に参加(8月11日)

平成11年11月11日に11人でスタートしたという「イレブン会」は、代表幹事の松浦正明氏(歯学博士)と顧問の八木宗十郎氏(前・山口商工会議所会頭)が主宰される異業種交流会で、毎月11日に西村屋旅館で開催されています。会員も100名近くに達しておられ、地元で活躍されている方々だけでなく、官庁、新聞、報道の通勤族の方も多いため、今後も交流を深めていくことになりました。

さっそく、八木宗十郎氏からは9月13日に山口七夕会への入会届もいただきました。

意見交換会を開催(8月12日)

ふるさと山口での意見交換会も回を重ねて今回で3回目、ふるさと交流会も合わせると6回目になります。

お盆前の忙しい時期にもかかわらず次のような方々14名に参加いただき、下記のような意見交換を行うことができました。

【参加者】阿部公彦(株式会社ヒューモア・チーフプランナー)、入江 幸江<会員>(山口市議会議員・かなめ会)、入山アキ子<会員>(イリヤマプランニング代表・歌手)、大田宗<会員>(東京山中・山高同窓会86期幹事)、小笠原貴芳江(株式会社ヒューモア代表取締役)、児玉秀文<会員>(児玉企画代表)、坂本強<会員>(坂本整形外科理事長、NPO法人亀山を愛育てる会理事長)、橋本憲二(山口高校同窓会副会長)、福田百合子(中原中也記念館名誉館長・桜園会会長)、藤井和憲(フジイプランニング顧問)、藤原淳(藤原内科・院長・元山口県医師会会長)、八木政治(旭水産代表取締役社長・山高79期)、吉田豊(山口市総合政策部長)、山縣(幹事長)

【意見交換の概要】

街中大学など他団体との連携も考えて欲しい。(福田)

七夕会は、世田谷区、山高の会という認識しかなかった。子供が山口から出てしまったので、ビジネスというか山口に仕事を創出するようなビジョンを考えて欲しい。(入江)

実家が空家となっている実態はある。実家の管理を七夕会をからませて考えることもできるのでは。(橋本)

ふるさとを愛する心で山口のイメージソングを2曲リリースする。(入山)

世田谷区に住んでいる。近くで区民まつりや維新祭りをやっている。出展者に山口市のことを聞いてみたら、「5年前位までは出展していたようだが、補助金が出なくなって来なくなったようだ。」と言っていた。(大田)

医者なので山口市内の横のつながりが弱いところがあり七夕会に期待している。市内の他団体がどんな活動をしているか知りたいので、市内で活動する団体の概要のようなものをまとめて欲しい。(坂本)

会社の5周年記念にロックイベントを企画した。歌の力で何かできるのでは。(阿部)

兄が仲間とバンド演奏をできるようなイベントを考えている。(仮称「青春グラフィティ」)また、伊豆大島で100キロマラソン大会をつくって500名の参加する大会に育てた経験を生かし、新市域を巡る100キロマラソン大会を企画したい。(山縣)

出合いが楽しいから参加している。(藤原)

4. 山口七夕会・役員&会員交流会(9月12日)

夏の総会、ふるさと山口での交流と意見交換を踏まえて、役員、会員で今後の山口七夕会の活動について語り合い、交流を深めました。参加者は下記の12名でした。

【参加者】八木重二郎会長、石田順康副会長、村田常雄顧問(山口県東京事務所長)、久保潤二(会員)・玲子夫人、引頭和江(会員・会計担当)、大田宗(山高86期・新会員)、吉岡和美(大田友人)、杉山茂(首都圏事務局)、後藤大(山高102期・新会員)、大嶋愛子(会員)、山縣(幹事長)

【内容】

平成23年度の今後の活動について

中期(3年)の活動計画について

特に、3年後の平成26年度が設立15周年にあたることから記念誌の発行に向けての準備や会員拡充や運営体制の強化について語り合いました。

会場は、会員と山口の御縁で、日本料理「花・味兆」でした。



今後も月1回位のペースで平日の夜や土日祝日の昼に役員と会員の交流と意見交換の場を企画していきますので興味のある方下記メールにご連絡ください。

tanabata@c-able.ne.jp